

令和7年度
一般選抜第1期 入学試験問題

簿 記

注 意

- (1) 解答用紙に受験番号、氏名を記入すること。
- (2) 解答用紙は、鉛筆で記入してさしつかえない。
- (3) 解答は、解答欄に記入すること。
- (4) 下書きには、問題用紙の余白を使用すること。
- (5) 解答用紙は、1枚しか配付しない。
- (6) 試験終了後、解答用紙および問題用紙を持ち帰らないこと。
- (7) 使用可能な電卓は計算機能（四則計算）のみに限る。

問題1 次の取引の仕訳を示しなさい。なお、勘定科目は下記の中から最も適当なものを選択すること。

勘定科目：

受取手形	受取手数料	受取利息	売	上	売掛金
買掛金	貸付金	借入金	機械装置		研究開発費
現金	差入保証金	仕入	支払手形		支払手数料
支払家賃	支払利息	ソフトウェア	ソフトウェア償却		当座預金

- (1) 西目屋株式会社は新しい事務所を賃借する契約を結んだ。契約にあたり、1ヶ月分の家賃¥120,000、敷金¥120,000および不動産業者に対する仲介手数料¥60,000を、小切手を振り出して支払った。
- (2) 大鰐株式会社は期首に自社利用の目的でソフトウェア¥600,000を購入したが、決算日となり、償却（償却期間5年、定額法）を行った。
- (3) 碓ヶ関株式会社は新製品開発のための機械装置¥5,000,000を購入し、小切手を振り出して支払った。なお、この機械装置は他目的への転用はできない仕様となっている。
- (4) 鶴田株式会社は板柳銀行から¥500,000を期間9か月、利率年8%の条件で借入れていたが、本日期限が到来したため、利息分も含めて現金で返済した。
- (5) 田舎館株式会社は黒石株式会社に商品¥150,000を売り上げ、代金として下記の約束手形を受け取り、残額は月末に受け取ることにした。

No. 39	約束手形	青森 0001 1110-111
収入 印紙	青森県南津軽郡田舎館村☆☆☆1-1 田舎館株式会社 田舎館一郎 殿	支払期日 ×2年3月25日 支払地 青森県弘前市 支払場所 弘前銀行本店
	金額 ¥100,000※	
	上記金額をあなたまたはあなたの指図人へ この約束手形と引き替えにお支払いいたします。	
	×2年1月25日	
	振出地 青森県黒石市	
	住所 青森県黒石市〇〇〇1-1	
	振出人 黒石株式会社 黒石次郎	

問題2 次の表の(1)～(3)は、各々独立した会計期間のものである。①～⑫にあてはまる金額を求め、解答用紙に記入しなさい。なお、純損失の場合には金額の前に△印をつけなさい。

	期 首			期 末			収 益	費 用	純利益 または 純損失
	資 産	負 債	純資産	資 産	負 債	純資産			
(1)	12,400	4,500	①	13,700	②	③	16,700	④	1,800
(2)	⑤	3,200	⑥	16,100	⑦	10,900	⑧	20,400	△2,500
(3)	16,100	⑨	⑩	⑪	6,500	8,400	15,700	⑫	△2,100

問題3 十和田商事株式会社の×2年9月の取引(一部)は次のとおりである。それぞれの日付の取引が解答用紙に示されたどの補助簿に記入されるか答えなさい。なお、解答にあたっては、該当するすべての補助簿の欄に○印をつけること。

9日 六戸物産株式会社から商品¥500,000を仕入れ、代金は掛けとした。なお、同社との支払条件に10日以内に支払った場合は3%を割引くという条件が付されている。

15日 9日に仕入れた商品の代金を現金で支払ったため、割引の条件が適用された。

18日 かねて七戸商店へ売り上げていた商品¥300,000について不良品が見つかったため返品を受け、掛代金から差し引くこととした。

24日 五戸不動産株式会社から土地¥2,000,000を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。

30日 株式会社八戸物産に商品¥400,000の注文をし、手付金として¥100,000を現金で支払った。

問題4 現金過不足勘定について、説明しなさい。なお、解答にあたっては、以下の語句をすべて用いること。

貸 方 借 方 決 算 雑 益 雑 損

問題5 以下の資料は、青森商店の決算日（X2年3月31日）における（A）決算整理前残高試算表および（B）決算整理事項である。これらにもとづき、解答用紙の貸借対照表および損益計算書を完成しなさい。解答にあたっては、[] 内には適当な用語を記入すること。なお、会計期間は X1年4月1日から X2年3月31日までの1年間であり、法人税等は考慮しないものとする。

(A)

決算整理前残高試算表

X2年3月31日

(単位：円)

借 方	勘 定 科 目	貸 方
5,543,000	現 金 預 金	
257,000	受 取 手 形	
254,000	売 掛 金	
224,000	売買目的有価証券	
566,000	繰 越 商 品	
7,200,000	建 物	
1,300,000	備 品	
	支 払 手 形	216,000
	買 掛 金	237,000
	貸 倒 引 当 金	12,000
	仮 受 金	31,000
	建物減価償却累計額	2,688,000
	備品減価償却累計額	702,000
	資 本 金	5,000,000
	資 本 準 備 金	1,000,000
	利 益 準 備 金	200,000
	繰越利益剰余金	5,280,000
	売 上	7,317,000
5,986,000	仕 入	
1,163,000	給 料	
190,000	保 険 料	
22,683,000		22,683,000

(B) 決算整理事項

- (1) 仮受金は、前期に貸倒処理を行った売掛金¥54,000のうち、当期に回収されたものを一時的に処理したものである。
- (2) 掛売した商品について、品違いのため¥9,000の返品を受けたが、未処理であった。
- (3) 受取手形および売掛金の期末残高に対し、2%の貸倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法によること。
- (4) 売買目的有価証券を¥205,000に評価替えする。
- (5) 期末商品棚卸高¥561,000には、(2)の返品分の原価¥7,000は含まれていない。
なお、売上原価は、「仕入」の行で計算すること。
- (6) 建物および備品について、以下の条件で定額法により減価償却を行う。
ただし、建物のうち¥800,000は、X1年8月1日に取得したものであり、その日から使用している。なお、減価償却の計算は月割計算による。
建物：耐用年数 30年 残存価額 取得原価の10%
備品：耐用年数 10年 残存価額 取得原価の10%
- (7) 保険料は、5年前より、毎年12月1日に、向こう1年分を支払っている。なお、保険料は過去5年間一定である。

令和7年度 一般選抜第1期 入学試験 解答用紙

簿記	受験番号		氏名		総点	
----	------	--	----	--	----	--

問題1

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

この欄には何も記入しないこと。

問題2

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	

問題3

	現金出納帳	当座預金出納帳	商品有高帳	売掛金元帳	買掛金元帳	仕入帳	売上帳	固定資産台帳
9日								
15日								
18日								
24日								
30日								

問題 4

この欄には何も記入しないこと。

問題 5

貸借対照表

X2年3月31日

(単位:円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金 預 金	5,543,000	支 払 手 形	216,000
受 取 手 形	257,000	買 掛 金	237,000
貸 倒 引 当 金	() ()	資 本 金	5,000,000
売 掛 金	()	資 本 準 備 金	1,000,000
貸 倒 引 当 金	() ()	利 益 準 備 金	200,000
売買目的有価証券	()	繰 越 利 益 剰 余 金	()
[]	()		
建 物	7,200,000		
減価償却累計額	() ()		
備 品	1,300,000		
減価償却累計額	() ()		
[] 費用	()		
	()		()

損益計算書

X1年4月1日からX2年3月31日まで

(単位:円)

費 用	金 額	収 益	金 額
[]	()	[]	()
給 料	1,163,000	貸倒引当金 []	()
有価証券評価 []	()	[]	()
減 価 償 却 費	()	当期純 []	()
保 險 料	()		
	()		()